

●装置機能概要

ラリー競技におけるフライングフィニッシュあるいはトラッキングポイントにおいて車両通過時刻を光電管あるいは手動スイッチの入力により検出、カーナンバーを入力し通過順と通過時刻およびカーナンバーを記憶する。(フィニッシュ/トラッキングモード)

同様にスタートにおけるスタートシグナル操作のための制御信号を出力、実際の車両スタート時刻を光電管入力により検出、カーナンバーを入力しスタート順と実際のスタート時刻と本来のスタート時刻およびカーナンバーを記憶する。同時にジャンプスタート(フライング)を検出し画面上に表示する。(スタートモード)

記憶したデータは通信ポートからコマンドを入力することにより読み出すことができる。

1ポイントにおける記憶データは最大256件。

記憶したデータはボタン操作により過去にさかのぼって表示させることができ、カーナンバーのみは再編集(修正)することができる。

記憶する時刻は1/10秒。(内蔵時計は1/1000秒まで計測可能)

内蔵時計精度は月差±1.3秒

●入出力インタフェース

光電管(手動スイッチ)入力×3

光電管、エマージェンシー手動スイッチ、予備、(トライアル競技使用も考慮)

スタートシグナル制御出力×7

ボタン×4

バックライト付きLCD表示器(20文字×4行)

シリアル通信ポート×1

USBポート×1(プログラム書き込み専用)

12V電源端子

12Vバッテリー接続

12V入力コネクタ

100V-ACアダプタ接続

●ボタン操作

4つのボタンにより以下の操作を行う。

1) 時刻合わせ

2) モード切替(『フィニッシュ/トラッキングモード』と『スタートモード』)

3) カーナンバー(000, 00, 0, 1~999)入力、データの確定

4) 光電管(手動スイッチ)入力のキャンセル(廃棄)

5) 記憶データ呼び出し/復帰

6) 記憶データ・カーナンバーの再編集(検出時刻は編集不可)

7) スタート動作(カウントダウン)の開始/キャンセル

8) 記憶データ(RAM)の全消去

●通信機能

パソコン等とシリアルケーブルで接続することにより装置内に記憶した計測データと読み出すことができる。シリアルケーブルでTNC機能を有する無線機等を接続することにより遠隔地からデータ読み出すことができる。

コマンドは、以下の通り

未通知データの読み出し

通知済みデータへの変更

記憶データ数の読み出し(通知済み/未通知を問わず)

記憶データの読み出し(通知済み/未通知を問わず)

全データの消去

時刻設定

時刻の読み出し

モードの読み出し

モード変更

通過時刻(スタート時刻)が検出されカーナンバーが確定したデータの後ろには『+』マークが表示される。こ

れは通信によってデータが引き取られていないことを意味する。データが通信によって引き取られ引取先が確認すると『+』マークは消える。データ引取後にカーナンバーを修正した場合は改めて『+』マークが表示され引取対象となる。

●追加予定機能

EEPROMによるデータ保持(500データ程度、電源を切ってもデータ保持)

●機能別ボタン操作説明

4つのボタンがありそれぞれのボタンはモードや状態により異なる機能を持つ。この4つのボタンですべての操作を行う。

ボタン[1]	◎	◎	ボタン[3]
ボタン[2]	◎	◎	ボタン[4]

<各モード、状態におけるボタン機能一覧>

Adjust Clock	ADJ	HMS	●	●	●	ENT
Change Mode	●	●	●	●	●	●
Input Car Number	●	●	●	NUM	CLR	●
	●	●	●	ENT	DEL	●
Records	EDV/CAN	●	●	UP	●	DOWN
	REC	●	●	●	●	●
Satrt/Cancel "Count Down"	●	●	●	STA/CAN	●	●
	●	●	●	●	●	●
All Clear	●	●	●	ACLR	YES	●
	●	●	●	ACLR	NO	●